



ジョブ・カードを使って

社員も会社も **もっと** 元気に！

全社員を対象にジョブ・カードを活用した自己理解セミナーとセルフ・キャリアドック制度を導入。
組み合わせて導入することで、組織全体の活性化を図る！



本社社屋

【企業名】株式会社スワキャンバス
 【所在地】香川県高松市
 【設立】1975年
 【資本金】1,000万円
 【従業員】9名
 【業種】製造業
 【事業概要】テント・シート・キャンバス製品の企画、設計、販売

導入目的：

社員が明確なキャリアプランを持つことでモチベーションアップを図り、組織全体を活性化

Q.ジョブ・カードを導入しようと思ったきっかけは何ですか？

当社は設立以来、お客様のニーズに合わせたテント・シートを提供しています。当社ならではの縫製技能を次の世代に継承し、テント・シート業界全体を発展させるためには社員にとって働きやすい環境づくりが大切だと考え、将来を見据えた制度改革に取り組んで参りました。こうした中、個々の社員が自分の大切にしたい価値観や強味を知ること意識の向上に繋がりたいと考え、2018年度にセルフ・キャリアドック制度を取り入れました。今回、四国広域ジョブ・カードセンターから、ジョブ・カードは自己理解が深まるツールであること、出張セミナーを無料で行っていただけると聞きました。常々、社員全員に対して、自己理解を深め、自身のキャリアプランについて具体的に考える機会を作り、その機会を活かすことで組織全体の活性化につなげたいと考えており、良いお話をいただいたので、ジョブ・カード作成支援セミナーを導入することにしました。

取り組み内容：

ジョブ・カードを活用した自己理解セミナーを行い、キャリアプランに対する意識づけを実施

Q.ジョブ・カードをどのように活用しましたか？

働きやすい職場環境整備の一環として、2018年度に導入したセルフ・キャリアドック制度は、キャリアの節目の時期にあたる対象者のみに対してジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを実施しました。対象者にとっては、ジョブ・カードを作成することで、自分を見つめ直す良い機会となり、導入して良かったと思っております。今回は、四国広域ジョブ・カードセンターのキャリアコンサルタントを講師として弊社にお招きし、社員全員を対象としたジョブ・カードを活用した自己理解セミナーを行いました。セミナーでは、個人やグループワークを行い、今後のキャリアに対する考えを深めることができる内容でした。日々の仕事に追われ、「キャリアは自分には関係のないこと」と捉えていた社員が、改めて自分の能力や可能性に気づき、「自分自身のキャリアプラン」を見つけ出すことができたセミナーでした。

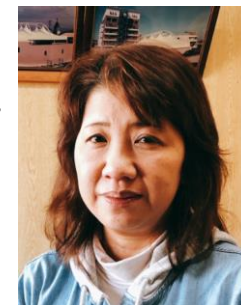
導入成果：

キャリアプランに対する意識が強まり、今後伸ばしていきたいスキル見える化を実現

Q.導入前後を比較して、あなた自身や社員・組織にどんな効果がありましたか？

セミナー受講後のアンケートには、「自分の強み・弱みが明確になった」「現状を見つめ直す良い機会だった」「自分を客観的に見ることが出来た」など前向きな感想が多く寄せられました。

また、今後のキャリアプランとして伸ばしていきたいスキルについての意識づけにもつながりました。個々の社員が生き生きと目標をもって仕事に取り組んでくれることで、少しずつ組織全体の活性化も進んでいるように感じます。セルフ・キャリアドック制度も継続して実施し、社員一人ひとりを大切にする企業として存続し続けたいと考えています。



富岡社長